

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和 7 年 5 月 1 日現在 江戸川区立第三葛西小学校

全国学力・学習状況調査		
A・B層の割合		
年度	国語	算数
令和 8 年度の目標	68.0%	66.0%
令和 7 年度の目標	67.5%	65.0%
令和 6 年度の結果	67.3%	57.1%
令和 5 年度の結果	67.2%	68.6%

令和 6 年度江戸川区学力調査結果		
A・B層の割合		
学年	国語	算数
第 6 学年	60.3%	57.6%
第 5 学年	61.2%	68.6%
第 4 学年	60.0%	50.0%
第 3 学年	69.6%	62.3%

 ともに、生きる。 江戸区	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	○互見授業の推進や教科担任制の実施、算数少人数指導の共通理解等による、授業改善を図る。 ○算数科の問題解決型学習を中心に、児童が考えを練り上げることができる学習過程を共通取組とする。 ○1 日 1 コマ以上 ICT 機器を使用した授業を行う。	○自分の考えを表現する力を付けるため、授業の話型を提示したり、スピーチを行ったり、継続的な取り組みを行う。 ○学習進度に合わせ、タブレット端末内の学習アプリ（ドリルパーク等）を課題として出す。 ○東京ベーシックドリルの活用 ○高学年は、朝学習でよむYOMUワークシートに取り組む。	○「お子さんの学力向上のために大切なこと（東京都教育委員会）」を配布し、保護者の協力を促す。 ○自分の考えを表出する力の育成を図るため、低学年では「日記」、中高学年では「調べる学習」も継続的にかつ時間をかけて授業や家庭学習でも取り組む。
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	○「めあて」を明確にし、1 単位時間の授業に見通しをもてるようにする。 ○場面に応じて具体物や視覚的教材等を用いて、自ら課題をもてるよう支援する。	○タブレット端末内の学習アプリを活用し、類似問題に取り組む、復習を実施する。 ○「EDOスク」への参加を促し、事業者担当と連携を図りながら、児童に必要な手だてを検討し、対応する。	○ICT 教材の活用や家庭と協力することで、個別最適化を図り、取り組む意欲を出せるようにする。
成果指標	○全国学力調査質問用紙 「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた」肯定的な回答の割合70 %以上	○東京ベーシックドリル診断テストの 8 割達成者80 %以上	○全国学力調査質問用紙 ①「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」肯定的な回答の割合85 % 以上 ②「授業時間以外に、普段 月～金、1 日当たりどのくらいの時間、勉強をしますか」1時間以上の回答割合 90 %以上